
大雪山とその周辺いろいろ

西 正子

●2020年7月28日(火)～8月1日(土)

●メンバー 西A 西M

●コース

29日 旭岳ロープウェイ→旭岳→間宮岳→中岳分岐→中岳温泉→裾合平→ロープウェイ

《6時間40分》

30日 黒岳ロープウェイ→黒岳→御鉢平展望台(往復)

《4時間20分》

少し長い休みを取り、念願の大雪山に行ってきました。

選んだのは初心者向き人気コースですから、既に目白の中には経験者がたくさんいます。なのでここでは詳細な報告ではなく、さまざまな雑感を記させていただきたいと思います。

※旭川4泊

今回は旭川駅前のビジネスホテルに4泊し、お天気を狙って山に入ることにしました。

旭岳ロープウェイまで車で片道1時間30分、黒岳ロープウェイまでは2時間ですから十分行かれる距離です。また、プラスαで、市内の名所や旭山動物園、少し離れた富良野・美瑛の観光地をめぐる場合、旭川に拠点を置くのは大変都合がよいと感じました。十勝岳方面にも似た時間で行くことができます。

※レンタカー

空港で借りたレンタカーはハイブリットタイプでした。初めてのハイブリット車。当たり前ですが、燃費が良いのにはびっくりしました。毎日あちこちへと移動距離が長いのに、燃料計の針はほんのわずかしかが下がりません。スタンドの少ない北海道にはピッタリの車です。

聞くとところによると、道内レンタカーは徐々に、このタイプへと移行しているそうです。「満タン

返し不要特典付き」なのにも納得できました。

※大雪山いろいろ

そうは言っても大雪山に行ったことのない人に、山の話をし少ししたいと思います。

「広い空の下、雄大な山々がたおやかな尾根でつながっている」のが大雪山です。北アルプスで似た風景を探すなら、三俣蓮華から黒部五郎、雲ノ平や黒部源流を想像するのがよいでしょう。

《注：あくまで個人の感想です》

29日の旭岳周回は、変化に富んだおもしろいコースでした。爆裂火口の急登、涼しい残雪帯、のんびり稜線、直径2キロのカルデラ、無人温泉、尾瀬のような湿原とお花畑、多彩な場面変化です。

大雪山には間宮岳(間宮林蔵)、松田岳(松田市太郎)、松浦岳(松浦武四郎)、小泉岳(小泉秀雄)、桂月岳(大町桂月)など、人名から取った山名が多くあります。皆、最初期の登山者や地質学者、植物研究者ですが、こんなところにも幕末から明治期、和人のおこした北海道特有の開拓登山史が見て取れます。

「ほんとうに素晴らしいお花畑でした」

夏の時期に登山した人ならば、誰もが口にする言葉です。もちろん私も同じように感じ、たくさんの写真を撮ってきました。ちょうどチングルマが終わり、芽をふくらませたリンドウやトリカブトが出番を待っている時期でした。

殺風景な言い方ですが、お花の種類が多いこと。同種のお花がぎっしりかつ広範囲に植生していることが大雪山のお花畑のすばらしさです。短い北国の夏に、一斉に競い咲きする様子が人々の心をつかむのです。

そして、お花はどんなにぎゅうぎゅう詰めで「密」に咲いても、小池さんに怒られることはありません。まったく、人間から見ればうらやましい限りです。